

# きゅうしゅう

NO.43



写真提供：陸上自衛隊第8師団司令部

## 目次 CONTENTS

### 1. 部隊紹介

陸上自衛隊 北熊本駐屯地

### 2. 自治体紹介～熊本県熊本市～

### 3. 業務紹介 建築課

### 4. インフォメーション

(表紙について)

18式機動戦闘車(MCV)は、平成29年8月北熊本駐屯地の整備工場で「入魂式」がおこなわれ、全国に先駆け、第42普通科連隊(現第42即応機動連隊)に配備されました。

当該車両は105ミリ砲を搭載し、C-2輸送機での空輸が可能なおことから、遠隔地へも迅速に対応することが可能となります。

九州防衛局 Kyushu Defense Bureau

<http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>





1 部隊紹介

# 陸上自衛隊北熊本駐屯地紹介



第37代 第8師団副師団長 兼ねて  
第40代 北熊本駐屯地司令

ふじい しょういち  
陸将補 藤井 祥一

九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」を御覧の皆さま、第8師団副師団長兼ねて北熊本駐屯地司令の藤井将補です。第8師団司令部が所在する北熊本駐屯地は、熊本市の中心部から北方約4kmの北区八景水谷に位置し、東に大阿蘇の噴煙を望み、南に熊本城を眺め、駐屯地内には樹木等約1万本を有し、特に春は桜・つつじ・さつきの咲き乱れるさまが絶景で、駐屯地を訪れる方も年間約4万人を超えています。駐屯地は総面積65万平方メートル(約20万坪)、第8師団司令部を中心に、師団主力部隊・方面直轄部隊等約15個部隊が駐屯し、約3千名の隊員が日夜訓練に励んでいます。

沿革は、昭和15年4月、熊本陸軍幼年学校として誕生し、将来の将星を志す少年達の道となり、昭和20年8月、終戦と同時にキャンプウッドが開設され米軍が駐留しました。昭和27年サンフランシスコ平和条約が発効され、日本が独立したのを契機に昭和30年駐留米軍の撤収が始まり、同じ年の12月に北熊本駐屯地が開設され、その後様々な変遷を経て現在に至ります。

当駐屯地は、毎年師団創隊・駐屯地開設記念行事を開催するとともに、駐屯地観桜会、夏まつりなどを行い、郷土の方々と積極的に交流し、自衛隊に対する理解を深めていただいています。また、今年7月大講堂と資料館を備えた「北熊館(ほくゆうかん)」を開館し、見応えのある展示物をそろえ皆さまをお待ちしています。北熊本駐屯地は、今後も皆さまからの信頼感を向上させ、安心していただけるよう任務に邁進していく所存であります。これからも引き続き北熊本駐屯地に対する深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。尚、本年3月末に第8師団は機動師団化改編し、生まれ変わりました。

## 第8師団新ロゴマーク New Logomark

機動師団化改編に伴い新調しました。



「飛び立とう、大切な人のために」  
～今、飛び立つ時～

我々が、行動するようなことがあってはならない。  
しかし、何か起こった時(有事の際)いつでも、どこへでも  
出動(飛び立つ)する準備は出来ている。  
大切な人を守るために、1人でも多くの人を救うために  
飛び立とう。

## 熊本の名所 Famous Place



平成28年熊本地震により被害を受け修復中の熊本城



風光明媚な阿蘇外輪山



# JGSDF Camp Kitakumamoto

## 第8師団機動師団化改編行事各種行事 Rapid Deployment Division



第8師団機動師団化改編行事

第8師団は、第42普通科連隊を即応機動連隊に改編するとともに、重装備部隊である第8特科連隊及び第8戦車大隊を方面直轄に、又、即応予備自衛官を主体とする部隊である第24普通科連隊を方面混成団に移管し、更に即応性、機動性を高めた部隊となりました。



第42即応機動連隊



西部方面特科連隊



16式機動戦闘車

## 各種訓練 Various Activities

### 第1次師団訓練検閲の活動写真



16式機動戦闘車の突入



CH-47による空路潜入



敵情を監視する隊員

## 各種行事 Various Events



記念行事



音楽演奏



駐屯地夏まつり



## 2 自治体紹介

## ●市長あいさつ

熊本市は九州のほぼ中央、熊本県の北西部に位置し、市域に県内人口の4割以上となる約74万人が暮らす、九州では福岡市、北九州市に次ぐ規模の都市です。

また、まちの中心部にそびえる勇壮な熊本城、阿蘇山麓で育まれた清らかな地下水や豊かな緑、良質な農水産物など歴史文化と自然の恵みにあふれた都市です。特に熊本城は「武者返し」と呼ばれる独特の石垣や復元された豪華絢爛な本丸御殿など、見所が多く熊本市のシンボルとなっております。残念ながら熊本城は、2016年4月に発生した熊本地震で、天守閣や石垣、重要文化財建造物など多くの被害を受けました。現在、2019年までに天守閣の外観復旧を、そして、およそ20年をかけて熊本城全体の復旧を目指しております。仮設見学通路の設置など復旧過程の公開を行いながら整備を進めてまいりますので、ぜひご覧いただければ幸いです。



熊本市長 大西 一史



熊本市イメージキャラクター「ひこまる」

新しく生きよう。

# NEO ONE KUMAMOTO

## 熊本市と自衛隊との関わり

本市には、陸上自衛隊西部方面総監部等が駐屯する健軍駐屯地及び陸上自衛隊第8師団司令部等が駐屯する北熊本駐屯地の2つがあり、数多くの島嶼部を抱える九州・沖縄地区の重要な防衛任務を果たされております。

自衛隊の皆様には、2016年の熊本地震の際、発災当初より本市所在の駐屯地をはじめ、全国各地から多数の部隊を派遣していただき、給食・給水、入浴支援など生活支援活動を通じて市民へ大きな希望を与えていただきました。

本市は未だ復興の途上ではございますが、一日も早い復旧・復興に向けて全力で取り組むとともに、自衛隊の皆様と連携を図りながら災害に強いまちづくりを進めてまいりたいと思います。





**熊本城**

現在、本丸には入れませんが、二の丸広場や加藤神社から天守閣や櫓等をご覧いただけます。詳しくは熊本城公式ホームページでご確認ください。日本三名城のひとつといわれる熊本城は、加藤清正(かとうきよまさ)が慶長8年(1601年)から7年の歳月をかけ築城した天下の名城です。



**見学エリア**

**徒歩**

桜の馬場城彩苑から、二の丸駐車場まで。  
 <通行時間>午前8時～午前0時  
 新堀橋から、加藤神社まで。  
 棒庵坂。(歩行者のみ常時通行可)

**無料シャトルバス**

桜の馬場 城彩苑 ↔ 二の丸駐車場  
 <運行時間>午前9時～午後5時  
 ※最終二の丸発 ※15分～20分間隔で運行

**桜の馬場 城彩苑**



バーチャルで熊本の歴史を体感することができる「熊本城ミュージアム わくわく座」、「熊本ならではの」をコンセプトに県内各地の食やお土産がそろった飲食物販施設「桜の小路」などを備えた観光交流施設。併設する総合観光案内所では、熊本市内をはじめ、県内の様々な観光情報をご案内しています。観光ボランティアも常駐していますので、はじめて熊本を訪れた方には特におすすめのスポットです。

**下通アーケード**



熊本県内最大のショッピングアーケード。デパートやブティックが立ち並び、ファッションやアミューズメントの中心地であると同時に、カフェや郷土料理店などの飲食店が軒を並べるグルメ街としても有名です。

**水前寺成趣園**



肥後細川藩初代忠利公が鷹狩の暇(みぎり)、渾々と清水が湧くこの地を殊の外お気に召され、御茶屋として作事されたのが始まりです。後、綱利公の代に大規模な作庭がなされ、桃山式の優美な回遊式庭園が完成、陶淵明の詩(帰去来辞)より成趣園と命名されました。



**Access Map**





### 3. 業務紹介 建築課



水中脱出訓練風景



整備格納庫

#### 業務概要

九州局建築課では、九州北部4県（福岡・佐賀・長崎・大分）に位置する自衛隊及び米軍のミッションに関わる特殊な施設（訓練施設、格納庫、通信所、鉄塔等）や隊員が使用する生活支援施設（隊員宿舎、食堂厨房、病院等）などの多種多様な建築物の設計・施工に携わっています。

建設場所は、自衛隊等の基地・駐屯地で一部の施設は市街地のみならず山間僻地や離島に建設するため、非常に厳しい立地条件となること、また特殊な建築物が多いことから建設工事監督業務を適切に行うには幅広い知識と高い技術力が求められるため、課員は日々技術の研鑽に努めているところです。

また、当課の特徴としては、課員の約1/3を女性が占めており、果敢にも現場に赴き監督業務を遂行しており、その活躍が目立っています。

#### 主な業務

- ・ 建築工事に関する自衛隊・米軍・自治体との連絡調整に関すること。
- ・ 建築工事の設計・積算及び監督・検査に関すること。
- ・ 建築に関する最新技術等の調査及び研究に関すること。

九州防衛局管内主要施設配置図



打合せ状況



杭工事立会い



## 4. インフォメーション

### 感謝状贈呈～在日米海軍佐世保基地法務部長 ホートン大尉～

在日米海軍佐世保基地法務部長ジョセフ P. ホートン大尉の離任に当たり、同氏の在任中の功績に謝意を表するため、平成30年5月29日（火）同基地司令部庁舎において三貝九州防衛局長からの感謝状を飯田佐世保防衛事務所長より贈呈しました。

ホートン大尉は、平成29年6月着任以来、日米地位協定第18条に基づき、米軍人等による事件・事故に係る賠償に関して積極的な対応に努め、被害者の早期救済に尽力されました。

ホートン大尉は離任後、米国ハワイ州に所在するキャンプ・スミスにて勤務される予定です。



▲ホートン大尉（左）と飯田佐世保防衛事務所長

### 九州防衛局が護衛艦ひゅうがが一般公開で広報活動

平成30年6月2日（土）から3日（日）にかけて、北九州市の門司港西海岸2号岸壁において、海上自衛隊の護衛艦ひゅうがが一般の方々へ公開され、約6700名が来場されました。九州防衛局は同岸壁の会場にブースを設置し、広報活動を行いました。

ブースでは、防衛白書や自衛隊の災害派遣等のパネル展示、九州防衛局広報「きゅうしゅう」をはじめ、防衛省各種パンフレットの配布、防衛省活動記録「女性自衛官の活躍推進」の上映及び艦船や航空機等のペーパークラフトの展示・配布を行いました。来場者は担当職員へ積極的に質問するなど男女を問わず、また幅広い年齢の方々に興味を持っていただきました。

特に、恒例となった人気の防衛白書パネルクイズコーナーでは、景品の缶バッジに新作が加わり、用意していたバッジ200個が瞬く間になくなる盛況ぶりでした。

また、ペーパークラフトの展示では、作成した担当職員が形が複雑な艦船の作り方を来場者に熱心に教えたり、テントの片隅にぶら下げていたパラシュートが「かわいい！」との反応など、ブースは来場者と職員との会話で大いに盛り上がりました。



▲ペーパークラフトの作成について説明する九州防衛局職員



▲ブースはいつも賑わっています



▲護衛艦ひゅうがの勇姿



## 福岡県警察本部において九州防衛局原田地方調整課長が講演

平成30年6月22日（金）福岡県警察本部講堂において、「在日米軍再編の進捗状況について」と題して、原田道明地方調整課長が講演を行いました。（参加者約60名）

本講演は、福岡県内各警察署の地域警察幹部を対象とした米軍航空機事故対応要領に関する研修会の中で、雑踏警備を担当する警察官としての見識を広め業務に資することを目的として、福岡県警察本部から九州防衛局に部外講師の依頼があったものです。

講演は、在日米軍再編の概要を説明の後、沖縄における米軍再編の状況、本土における米軍再編の状況の説明が行われ、在日米軍再編の意義について個々の事例を紹介することにより、参加者は在日米軍状況について理解を深め、講演を終えました。

また、講演後の質疑応答では、米軍施設内または施設外での航空機事故対応の要領や、事故の情報提供窓口はどこかなどの質問に、同席の池田勝巳業務課長が事例を示しながら回答し、活発な意見交換がなされたところで講演は終了しました。



▲講演をする原田地方調整課長



▲講演後、参加者からの質問に対応する池田業務課長（右）

## 第35回防衛問題セミナー開催

開催日時：平成30年7月2日（月）1830～2030

開催場所：市民会館シアーズホーム夢ホール（熊本市民会館）（熊本県熊本市）

※ 事情により会場が急遽変更となりました。

平成30年7月2日（月）、九州防衛局は熊本県熊本市の熊本市民会館において、「熊本地震と自衛隊 ～地域とともに歩む西部方面隊～」と題し、『第35回防衛問題セミナー』を開催しました（来場者約90名）。

主催者を代表して島眞哉九州防衛局次長からの挨拶の後、2部構成での講演が行われました。

講演の第1部は、「西部方面隊の役割と活動」と題して、陸上自衛隊西部方面総監部防衛部長の垂水達雄1等陸佐が、西部方面隊の概要、体制改革及び災害派遣活動などについて説明しました。

第2部は、「熊本地震における対応」と題して、陸上自衛隊西部方面特科連隊長の井上亙1等陸佐が、熊本地震の概要及び熊本地震への自衛隊の対応について説明しました。

今回のセミナーでは、平成28年4月に発生した熊本地震の記憶も新しい中、来場者の防災に対する関心が高く、質疑応答においては、「物資輸送も重要だが、避難場所における衛生面の対応も重要であり、地域の病院と自衛隊との連携が必要ではないか。」「熊本地震では、救援物資があふれているところ（避難所）と不足しているところがあった。」などの質問や意見が寄せられ、災害時における自衛隊の活動への市民の期待が大きいことが示され、盛況なセミナーとなりました。

九州防衛局では、今後とも防衛省の諸施策や自衛隊の活動についてより多くの方々に理解していただくため、九州各地で『防衛問題セミナー』を開催していく予定です。是非ともご参加ください。



▲西部方面総監部防衛部長 垂水達雄1佐による講演



▲西部方面特科連隊長 井上亙1佐による講演



# 平成30年度優秀工事等顕彰状授与式

(本局)

平成30年7月27日、九州防衛局において、平成29年度に完成した工事の中から選ばれた13社と技術者2名及び業務の中から選ばれた5社に対し、小森調達部長から顕彰状が手渡されました。

これは、当局が発注する建設工事や設計業務等のうち、他の模範とするにふさわしい優れた施工や業務を行った方々に対し、防衛施設工事におけるさらなる技術力の向上や受注意欲を高めることを目的として授与されるものです。今回顕彰された工事は、厳しい施工条件や防衛施設としての特殊な施工などの難題に対し、積極的に対応し優れた出来形を納めていただいたもので、また、業務は調査、設計、施工監理において、優れた技術力により、秀逸な成果物を納めるなど、まさに顕彰に値するものでした。

これを機会に多くの方々に防衛施設の建設工事に興味をもっていただき、幅広く入札に参加していただけることを期待しております。

### 【優秀工事 顕彰状授与企業等】

- 飛島建設(株)九州支店
- 佐世保米軍(25)立神港区工場新設建築その他工事
- (株)梅村組 赤崎貯油所(27)汚水管整備等土木その他工事
- 西松建設・梅村組建設共同企業体 相浦(27)隊庁舎新設建築工事
- (株)上滝 相浦(28)宿舎等新設建築工事(その1)
- 河野電気(株)大分(27)庁舎新設等電気その他工事
- (株)池田工業 相浦(28)宿舎等新設建築工事(その2)
- (株)菱熱 大分(27)庁舎新設等機械工事
- 共立商工(株)佐世保米軍(25)立神港区工場新設機械工事
- (株)弘電社九州支店
- 佐世保米軍(25)立神港区工場新設電気その他工事
- 大橋エアシステム(株)戸屋(28)隊舎新設等機械工事
- タダス工建設(株)赤崎貯油所(28)汚水管整備等土木その他工事
- (株)とみたメンテ 佐世保(28)庁舎外壁等改修建築工事
- (株)西海建設 相浦(28)既設護岸復旧工事

### 【優秀技術者 顕彰状授与技術者】

- 共立商工(株)(現場代理人)井上 真吾 殿
- 佐世保米軍(25)立神港区工場新設機械工事
- (株)弘電社九州支店(現場代理人・監理技術者)柴田 明洋 殿
- 佐世保米軍(25)立神港区工場新設電気その他工事

### 【優秀業務 顕彰状授与企業等】

- 日本地研(株)佐世保(27)崎辺地区海上部土質等調査
- (株)車田建築設計事務所 板付米軍(29)倉庫等新設建築設計
- 日本工営(株)福岡支店 佐世保米軍(28)立神港区環境現況調査
- (株)長野総合建築事務所 飯塚外(29)隊庁舎耐震診断等業務
- (株)海渡設計 佐世保米軍(25)立神港区建築その他工事監理業務



### 【優秀業務】

- 上段左から、設備課長、調達部次長、土木課長
- 中段左から、中段左から(株)海渡設計、日本工営(株)福岡支店
- (株)長野総合建築事務所
- 前段左から(株)車田建築設計事務所、調達部長、日本地研(株)



### 【優秀工事・優秀技術者】

- 上段左から、設備課長、(株)とみたメンテ、タダス工建設(株)、(株)西海建設、調達部次長、土木課長
- 中段左から、大橋エアシステム(株)、(株)弘電社九州支店(優秀技術者)
- 共立商工(株)、(株)池田工業、河野電気(株)、(株)菱熱、共立商工(株)(優秀技術者)、(株)弘電社九州支店
- 前段左から、(株)上滝、(株)梅村組、調達部長、(株)飛島建設、西松建設・梅村組建設共同企業体

(熊本支局)

平成30年7月4日、熊本防衛支局において、平成29年度に完成した工事等の中から優秀工事として選定された工事の受注2者に対し、竹内支局長から顕彰状が手渡されました。

本顕彰制度は、当支局が発注する建設工事等のうち、困難な条件下にもかかわらず工程管理や安全管理に優れたもの等で、他の模範とするにふさわしい工事等を優秀工事等として顕彰するものです。

本制度は平成21年度から実施しているものですが、今後とも、入札参加者の受注意欲の向上、工事目的物の品質確保を図り施設取得の円滑な推進に資するものにして考えています。

### 【顕彰状授与企業体】

- 西松建設(株)九州支社 鹿屋(28)駐機場整備工事
- 神野商事(株) 鹿屋(28)航空灯火設備整備工事



西松建設株式会社九州支社(左)、神野商事株式会社



# 防衛問題ミニセミナーを開催しました！

開催日時：平成30年7月11日（水）1310～1630  
開催場所：大瀬戸コミュニティセンター（長崎県西海市）  
横瀬貯油所（西海市に所在する米軍施設）

7月11日（水）、九州防衛局は、在日米海軍施設である横瀬貯油所が所在する長崎県西海市において、防衛問題ミニセミナーを開催しました（参加者約50名）。

ミニセミナーは、防衛政策や自衛隊の活動の円滑な実施のため、特にご理解とご協力を賜る必要のある防衛施設周辺地域における取組を推進するため、平成28年度から九州防衛局が各地において開催してきているものです。

今回のミニセミナーでは、西海市議会議員及び同市職員を対象として、九州防衛局の岩田和昭企画部長から、我が国を取り巻く安全保障環境の現況や、海上自衛隊等が保有するエアクッション型揚陸艇（LCAC：エルキャック）の役割等について講演を行い、参加者からは「今後、自衛隊にLCACを追加配備する予定があるのか。」等の質問がなされ、防衛行政に対する関心の高さをうかがうことができました。

また、講演後には、一同は西海市に所在する在日米海軍施設である横瀬貯油所に移動し、米海軍が保有するLCACや関連施設を現地見学するとともに、米軍担当者から、LCACの構造やメンテナンス、航行の安全を確保するための措置等について説明を受けました。



▲九州防衛局岩田企画部長による講演



▲記念撮影（横瀬貯油所）

事業者の皆さん

来年10月1日から始まる消費税の**軽減税率**

## 準備していただきたいことがあります。

標準税率**10%**と、飲食物品等に係る**軽減税率 8%**について  
（酒類・外食を除く）

① 帳簿・請求書・レシート等の  
記載を税率ごとに区分する  
ことが必要となります。

② レジや受発注システムの  
導入・改修が必要になること  
があります。



消費税軽減税率制度説明会 を全国で開催しています。ぜひご参加下さい。

開催日時、場所については [軽減税率説明会](#) [検索](#)

レジの導入等を支援する補助金について知りたい方は [軽減税率対策補助金](#) [検索](#)  
軽減税率制度について知りたい方は [軽減税率](#) [国税庁](#) [検索](#)

### お知らせとお願い

米軍施設の上空やその周辺においてヘリやドローンを飛行させることは、米軍の航空機との衝突事故等につながるおそれがある大変危険な行為です。

実際に、米軍ヘリが衝突を避けるために回避を余儀なくされる等、米軍航空機の航行の安全に影響が生じるような事案が発生しています。こうした行為により、航空機の安全な航行を妨害したとき等には、法令違反に当たる場合があります。

安全確保のため、御理解をお願いいたします。



■ 米軍ヘリとドローンが接近する状況

米軍施設の上空やその周辺においてヘリやドローンを飛行させることは、重大事故につながるおそれのある大変危険な行為です。行わないで下さい。

こうした行為により、航空機の安全な航行を妨害したとき等には、法令違反に当たる場合があります。



防衛省・警察庁・国土交通省・外務省

本チラシの内容に関するお問い合わせにつきましては、下記のいずれかの部署に御連絡願います。  
防衛省本省 地方協力局地方協力企画課 (代表) 03-3268-3111 (内線: 36245、36047)  
防衛省九州防衛局 総務部報道官 (直通) 092-483-8813

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

夜間及び休日の連絡先

電話：(092)483-8832 FAX：(092)472-1959

・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、  
休日は終日。